

植物【春】

大分市の森や野原や水辺には様々な植物が見られます。その植物たち
またエサとなって動物の命をつなぎ、菌類に分解されて次の世代の

は様々な動物や菌類(きんるい)と色々なかかわり方をして命をつなぎ、
植物の栄養となって、未来の生物たちの命を支えています。

植物【夏】

絶滅 EX

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

絶滅危惧Ⅱ類 VU

準絶滅危惧 NT

情報不足 DD

絶滅のおそれのある地域個体群 LP

1 サイハイラン [生息場所] 山林・草原
開花時期: 5月~6月ごろ
草丈: 30~50cm程度



林内に生育するラン科の多年草。開発や園芸目的の採集などで全国的に減少しています。菌類と共生するため栽培はむずかしいです。

2 シュンラン [生息場所] 山林・草原
開花時期: 3月~4月ごろ
草丈: 10~30cm程度



早春の雑木林などに生育するラン科の多年草。培養(ばいよう)がむずかしいため、園芸用流通品の多くは野生採取株を増やした株です。

3 ムラサキケマン [生息場所] 林・草原
開花時期: 4月~6月ごろ
草丈: 30~50cm程度



里山の林縁(りんえん)などに生えるケシ科の二年草で有毒植物。仏殿(ぶつでん)につるす仏具の華鬘(けまん)に見立てて名付けられています。

4 アケビ [生息場所] 山林・草原
開花時期: 4月~5月ごろ
つる性低~高木



アケビ科のつる性落葉木本(もくほん)。光を求めてほかの樹木(じゅもく)などにまきつき、古くなると木質化します。秋に甘く熟(じゅく)す実は鳥やテンも好みます。

5 ヤマフジ [生息場所] 山林・草原
開花時期: 4月下旬~5月ごろ
落葉つる性低~高木



マメ科のつる性落葉木本。ほかの樹木などにまきついて、古くなると木質化します。藤棚(ふじだな)などのフジとはちがう日本固有の野生種。

6 ヤマザクラ [生息場所] 山
開花時期: 3月下旬ごろ
高木



西日本の山地に自生するサクラ属の基本野生種。葉芽(はめ)と花がほぼ同時に開くので、先に花が咲(さ)くノメイヨシとの区別点になります。

7 マルバウツギ [生息場所] 山林・草原
開花時期: 5月~6月ごろ
低木



日当たりの良い山野の林縁や雑木林などに自生するアジサイ科ウツギ属の落葉低木。西日本に多いためツクシウツギともいいます。

8 ハマボツス [生息場所] 磯砂浜
開花時期: 5月~6月ごろ
草丈: 10~40cm程度



岩場や海岸林などのある海辺の砂浜に生育するサクラソウ科の越年(えつねん)草。葉は潮風(しおかぜ)や乾燥(かんそう)にたえるため、多肉質で光沢があります。

9 アラガコバミツバツツジ [生息場所] 山
開花時期: 3月~4月ごろ
低木



西日本の早春のアカマツ林やコナラ林で、うすむらさき色の花を咲かせるツツジ科の落葉低木。果実の表面や柄(え)にかっ色の剛毛(ごうもう)が残ります。

10 ケテイカカズラ [生息場所] 山林・草原
開花時期: 5月~6月ごろ
つる性低~高木



常緑樹(じょうりょくじゅ)林などに見られるキョウチクトウ科テイカカズラ属のつる性落葉木本。ジャスミンの仲間なので、花の時期は芳香(ほうこう)がたぐよいます。

11 ツクシタツナミソウ [生息場所] 林草原
開花時期: 5月~6月ごろ
草丈: 10~30cm程度



山地の草原や林縁などに生えるシソ科の多年草。シソバツナミソウの変種でしたが、葉の長さや色などから別種扱いとなっています。

12 オヤブジラミ [生息場所] 林・草原
開花時期: 4月~5月ごろ
草丈: 30~70cm程度



原野や道ばたにふつうに見られるセリ科ヤブジラミ属の二年草。開花はヤブジラミよりも1ヶ月程早く、花付きも少しまばらです。

13 コクラン [生息場所] 山
開花時期: 6月~7月ごろ
草丈: 15~30cm程度



常緑樹林の林床に生えるラン科の多年草。花は地味で小さく、園芸的価値はありませんが、野生ランとしてネット販売されています。

14 ネジバナ [生息場所] 里
開花時期: 4月~9月ごろ
草丈: 10~40cm程度



しめった日当たりの良い草地などに生えるラン科の多年草。最近、近縁(きんえん)のハチジョウネジバナが市内でも確認されています。別名モジズリ。

15 ヒオウギ [生息場所] 林・草原
開花時期: 7月~8月ごろ
草丈: 60~120cm程度



山野や海岸に自生するアヤメ科の多年草。まっ黒い種子は、射干玉(ぬばたま)とよばれ、「黒」や「夜」にかかる枕詞(まくらことば)になっています。

16 キツネノカミソリ [生息場所] 林・草原
開花時期: 8月~9月ごろ
草丈: 30~40cm程度



明るい林床や林縁などに自生するヒガンバナ科の多年生草本。有毒植物。葉の形をキツネが使うカミソリに見立てて名付けられました。

17 ヒンジガヤツリ [生息場所] 田んぼ
開花時期: 8月~10月ごろ
草丈: 5~30cm程度



水田地帯や湿地(しっち)などに生育するカヤツリグサ科の一年草。かつてはふつうに見られましたが、近年はほとんど見かけなくなりました。

18 コガンビ [生息場所] 林草原
開花時期: 7月~9月ごろ
小低木



日当たりの良い開けた草地などに生育するジンチョウゲ科ガンビ属の落葉小低木。草地の減少(げんしょう)にともなって激減(げきげん)しています。

19 マルバコウツギ [生息場所] 林・草原
開花時期: 6月中旬~7月上旬ごろ
低木



山野に生えるユキノシタ科の落葉低木。大分・熊本・宮崎各県の阿蘇火砕流(あそかさざいりゅう)分布域と、岡山県の一部のみに分布する日本固有の種です。

20 ヘクソカズラ [生息場所] 林・草原
開花時期: 7月~9月ごろ
高さや長さは様々



日当たりの良い道ばたなどにごくふつうに生えるアカネ科のつる性の多年草。変わったにおいがするのでかわいそうな名前が付いています。

21 ソナレムグラ [生息場所] 磯
開花時期: 8月~9月ごろ
草丈: 5~20cm程度



海岸の岩場に生育するアカネ科シマザクラ属の多年草。葉は肉厚で光沢があります。磯(いそ)に生えるムグラ[草むら]と言う意味です。

22 クサギ [生息場所] 山
開花時期: 7月~9月ごろ
低木



林縁や原野に生えるシソ科クサギ属の陽樹(ようじゅ)。和名はくさいことにちなみますが、若芽(わかめ)は食用に、天日乾燥して生薬(しょうやく)としても利用されます。

23 ウツボグサ [生息場所] 林・草原
開花時期: 6月~8月ごろ
草丈: 10~30cm程度



日当たりのよい山野に生えるシソ科の多年草。花の形が弓矢を束ねて入る漆塗り(うるしぬり)の駒(うま)に似ることから名付けられています。

24 ハンカイソウ [生息場所] 山林・草原
開花時期: 6月~8月ごろ
草丈: 50~150cm程度



山地の林下やしめった草原に生育するキク科メタカラコウ属の大型の多年草。勇壮(ゆうそう)な姿を中国の武将(ぶしょう)に見立てて名付けられています。

植物【秋】

草の間には、冬の寒さを“数年以上”乗り越(こ)えられる多年
越えられない一年草があります。

草、1回だけ冬を越す越年草(えつねんそう)または二年草、冬を

植物【冬】

絶滅 EX

25 イチョウの黄葉 【生息場所】
里公園
黄葉時期:11月~12月上旬ごろ
高木



イチョウ科の落葉高木。いつの時代に日本に伝来したかよくわかっていませんが、公園の木、街路樹(がいろじゅ)などとして広く利用されています。

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

28 エビヅル 【生息場所】
山林・草原
結実期:8月~10月ごろ
落葉する性低~高木



日本に自生するブドウ科のつる性落葉木本。「エビ」はブドウの古名であり、まきひげで木に登ります。実はおいしく、鳥も好みます。

絶滅危惧Ⅰ類 VU

準絶滅危惧 NT

31 イロハモミジの紅葉 【生息場所】
山・沢
紅葉時期:11月中旬~12月上旬ごろ
高木



ムクロジ科カエデ属の落葉高木。日本の紅葉(こうよう)を代表する樹種(じゅしゆ)であり、別名でイロハカエデ、タカオカエデなどとも呼ばれます。

情報不足 DD

絶滅のおそれのある地域個体群 LP

34 ヤクシソウ 【生息場所】
山林・草原
開花時期:8月~11月ごろ
草丈:30~120cm程度



日当たりのよい山野に生育するキク科一年草。「薬師草(やくしそう)」は、切口から出る苦い白い汁が薬になるとされてきたことに因(ちな)んでいます。

26 ヤマコウバシの実 【生息場所】
山
結実期:10月~11月ごろ
低木



クスノキ科クロモジ属の落葉低木。柑橘(かんきつ)系のよいかおりがします。雌雄異株(しゆういしゆ)ですが、日本では雌株(めかぶ)のみで無交配結実します。

27 ツルゴ 【生息場所】
林・草原
里
開花時期:8月下旬~9月ごろ
草丈:20~40cm程度



日当たりの良い土手などの草地に生育するキジカクシ科の多年草。秋の初めに、地下に球根からピンク色の花穂(かすい)を出します。

29 アカシデの紅葉 【生息場所】
山
紅葉時期:10月下旬~12月ごろ
高木



カバノキ科クマシデ属の落葉高木。花穂(た)の垂(た)れ下がる姿が神社の注連縄(しめなわ)などに使われる紙垂(しで)に似ています。

30 マサキの実 【生息場所】
磯・里
結実期:11月~1月ごろ
低木



海岸近くの林に多く生えるニシキギ科の常緑低木。初夏に白い花が咲(さ)き、秋に柄(え)のある球形をした果実(み)が実ります。

32 ミゾソバ 【生息場所】
田んぼ
川
開花時期:7月~10月ごろ
草丈:30~80cm程度



池畔(ちはん)、川ぞいなどに自生するタデ科の一年草。別名は花の姿からコンペイトウグサ、葉の形からウシノヒタイとも呼ばれ、蜜源(みつげん)として重要です。

33 ヒメジソ 【生息場所】
田んぼ
林・草原
開花時期:9月~10月ごろ
草丈:20~60cm程度



水田の畦(あぜ)、林縁(りんえん)、湿地(しつち)などに群生(ぐんせい)するシソ科イヌコジュ属の一年草。よく似たイヌコジュには強い芳香(かうかう)があるため区別(くべつ)できます。

35 アキノノゲシ 【生息場所】
里
林・草原
開花時期:8月~12月ごろ
草丈:50~200cm程度



日当たりの良い道ばたなどに生えるキク科の一年草または二年草。切口から白い液が出ることから、乳(ちち)草の別名があります。

36 ガマズミの実 【生息場所】
山・里
結実期:8月~10月ごろ
低木



明るい林に生えるガマズミ科の落葉低木。果実は生食のほか、果実酒や大根の赤漬(つ)けなどに利用されます。鳥やサルも好んでいます。

37 サネカズラの実 【生息場所】
山・里
結実期:10月~12月ごろ
つる性低~高木



マツバサ科のつる性常緑木本。茎(くき)などから得られる粘液(ねんえき)は、昔は整髪料(せいはいりょう)などに用いられ果実は生葉(しょうやく)とされていました。別名ビナンカズラ。

38 シロダモの実 【生息場所】
山・里
結実期:10月~11月ごろ
高木



山地や低地の森林内に生えるクスノキ科シロダモ属の常緑高木。精油による芳香(かうかう)があります。種子から採油し、ろうそくの材料となります。

39 ナンテンの実 【生息場所】
里公園
結実期:10月~11月ごろ
低木



暖地(だんち)の深流(ふかなが)などに生育するメギ科の常緑低木。「難(なん)を転(ころ)ずる」として縁起(えんぎ)の良い木とされています。のどあめの原料にも使われています。

40 ネムノキの冬芽と葉痕 【生息場所】
林・草原
里
冬芽観察時期:12月~4月ごろ
高木



各地の山野、河岸(かし)に自生するマメ科の落葉高木。夜になると小葉(せう)がじて垂(た)れ下がる就眠(しゅうみん)運動を行います。葉痕(ようこん)はアクロウの顔。

41 ムクノキの実 【生息場所】
山・里
結実期:10月~12月ごろ
高木



アサ科ムクノキ属の落葉高木。果実は甘く、ムクドリをはじめ様々な鳥が集まります。ざらついた葉は、漆器(しつぎ)などのけんま割(ざい)に利用されます。

42 オニグルミの冬芽と葉痕 【生息場所】
川・里
冬芽観察時期:12月~4月ごろ
高木



河畔(かはん)などに生育するクルミ科の落葉性高木。日本産で唯一(ゆい)の食用(じゆう)用(よう)み。葉痕(ようこん)は羊(ひつ)の顔。※くみアレルギーの人は注意(ちゆうい)が必要(ひつやく)。

43 ハゼノキの紅葉と実 【生息場所】
山・里
結実期:10月~11月ごろ
高木



日当たりの良い山野に生えるウルシ科の落葉小高木。秋に美しく紅葉(こうよう)します。果実から採取した木蠟(もくろう)をろうそくにして輸出(しゅつこ)していました。

44 カラスザンショウの葉痕 【生息場所】
山・里
冬芽観察時期:12月~4月ごろ
高木



沿岸(えんがん)地や山野などに生えるミカン科の落葉高木。伐採跡(ぼっさいあと)などでいち早く葉を広げる先駆性(せんくせい)植物(しょくぶつ)の一種。葉痕(ようこん)はサル(ざる)の顔。

45 センダンの実 【生息場所】
林・草原
川
結実期:10月~12月ごろ
高木



海岸近くや森林(もり)縁(えん)に多く自生するセンダン科の落葉高木。果実はしもやけ、樹皮(じゆひ)は虫下(むし)しなど、薬用(やくよう)として重宝(ちゆうほう)とされていました。

46 ヤドリギの実 【生息場所】
山公園
結実期:11月~12月ごろ
高木に寄生、30cm程度



ビャクダン科の寄生植物(きせいしょくぶつ)で、他の樹木(じゆもく)の枝(えだ)の上に生育する常緑(じょうりく)の多年生(ねんねい)植物(しょくぶつ)。果実(み)は主に冬鳥(ふゆとり)たちに食べられ、遠くへ運(は)べれます。

47 ヤブツバキ 【生息場所】
山・里
開花時期:12月~3月ごろ
低木~亜高木



山地に生える常緑(じょうりく)の日本固有(にっぽんこゆう)樹種(じゆしゆ)。觀賞(くわんがう)の枝(えだ)の上に生育する常緑(じょうりく)の多年生(ねんねい)植物(しょくぶつ)。果実(み)は主に冬鳥(ふゆとり)たちに食べられ、遠くへ運(は)べれます。

48 シマカンギク 【生息場所】
山
林・草原
開花時期:10月~1月ごろ
草丈:30~80cm程度



日当たりの良い山麓(さんろく)に生えるキク科の多年草。キク(きく)の原種(げんしゆ)の一つ。花を油(あぶら)に浸(ひた)してきず薬(きずぐすり)にしたため油菊(あぶらぎく)とも呼(よ)べれます。別名ハマカンギク。